



母親の赤ちゃんの頭の形が気になる・・・大丈夫と答えずに専門医の受診を！

ウパウパハウス岡本助産院

助産師 岡本登美子

出産後や3~4ヶ月健診などで保護者から「うちの子、頭の形が変じゃないですか？」相談に「大丈夫ですよ、赤ちゃんの頭は柔らかいから成長と共に治りますよ」と当たり前で返答をしていました。何の根拠もない確信もない対応をしていたことを反省するばかりです。その後の変化を気にも留めてなかったです。この度、日本頭蓋変形研究会の有識者の先生方の勉強会に知人の紹介で参加する機会に恵まれました。これまでの対応が覆され医療はエビデンスを基盤に、研究と共に進化していることに気づかされました。これからは専門職として前向きにお母様に相談されたら専門医の受診を提案することを伝えられそうです。

自らの出産を機に働く女性を応援したいと思い立ち、A市の駅近くに27年前、保育園を開設しました。7年前、7か月になる女児の母親からヘルメット矯正治療をしているのですが預かってもらえますか？という相談に少々面喰いました。説明を受け保育士と共有し預かることにしました。確かに、女児の後頭部は絶壁頭でした。ヘルメットの装着時間は段階を経て長くなり、注意点はヘルメットを外した際の、汗をかいた髪の毛と頭の汗を拭き乾かし、汗疹が出来ないように保湿剤の軟膏を塗布して乾燥するまで待つ。ヘルメットを除菌する。女児は泣くこともなく、他の児も触れず、むしろ装着時に耳の起点がズレると目で合図する可愛い場面がありました。1歳半、ヘルメット治療は終了しました。頭の形は後頭部に丸みが見られました。7歳になりましたが歯科医より歯の矯正治療を勧められているそうです。新生児や乳児の頭の形は児の成長・発達に重要であることを研究会で学びました。出産後3~4ヶ月健診で頭囲の測定や頭の形や変形、斜頸など見逃さない。早めの治療が有効であることも参考になりました。

